



新冠町立新冠小学校 学校便り 令和5年9月28日



冠小だより

【教育目標】

- ・よく考える子ども
- ・心の美しい子ども
- ・ねばり強い子ども
- ・じょうぶな子ども

令和5年度
重点目標

『共に認め合い、自己有用感がもてる子』の育成
大好きな自分・なりたい自分・みんなと生きる自分を育てる

令和5年度全国学力・学習状況調査 結果について

4月18日に行われた令和5年度全国学力・学習状況調査の結果が7月28日に公表され、本校にも結果が送付されました。本校では、同日に行われた2～5年生対象のCRT学力調査と合わせて結果を分析し、今後の授業ならびに学力向上にむけた取組の改善へ活かしていきます。また、児童質問紙の結果につきましても「かんしょうアンケート」と合わせて重点目標達成に向けて活用してまいります。



《成果》

- ☆既習の漢字を文中で適切に使用したり、読んだりできている。
- ☆文章の特徴やつながりを考えて読むことができている。
- ☆原因と結果など情報のつながりを考えることができる。

《課題》

- ★学年別配当漢字定着の取組を継続していく必要がある。
- ★資料を有効に活用し、自分の考えが伝わるように書き表すことが難しい。
- ★話の内容を捉え考えを比較したり、伝えたいことを考えたりして文章を書くことが難しい。

《改善点》

- ◎学年別配当漢字の定着の徹底
- ◎図表やグラフなどの資料や話し合いの内容などを使って自分の考えをまとめ、文章で相手に伝え活動を取り入れる。
- ◎条件をふまえて、伝える相手や目的を意識した文章を書く活動を取り入れる。
- ◎「書く力」の向上を目指した家庭学習と連携した取組を行う。



《成果》

- ☆計算や算数に関わる基礎的知識の定着が進んでいる。
- ☆図形領域において基礎的知識を活用し、考察することができる。
- ☆学習してきたグラフを読み取り、活用する力が伸びてきている。

《課題》

- ★計算の意味理解や解釈に課題が見られる。
- ★割合や百分率といった数量の関係性をとらえる単元の定着が不十分である。
- ★日常生活の場面を解釈したり、複合した表やグラフを読み取り活用することに課題が見られる。

《改善点》

- ◎「できる」に留まらず「わかる」を目指した指導を徹底する。
- ◎割合や百分率など数量の変化や関係に関わる単元を重点的に取り扱い、復習する。
- ◎日常生活の場面や学んだことを活用する具体的場面を設定し、算数的な活動を積極的に取り入れて思考したり、判断したり、体験したりする機会を増やす。



児童 質問紙より



学力・学習状況調査は、学習内容の定着状況を調査するだけでなく児童の学習環境や意欲等も調査し、今後活かしていくことも目的としており、そのための質問紙による調査も実施しています。

そこから見えてくる新冠小学校の様子につきましても考えていきたいと思ひます。

《傾向》

- ☆月曜～金曜までで1時間以上学校外で学習に取り組んでいる児童が6割以上いる。
- ☆地域行事への参加や社会に対する関心が全国・全道平均より高い。
- ☆国際交流に対する関心が全国・全道平均よりかなり高い。
- ☆「読書が好き」と回答した児童の割合が全国・全道平均より高い。

《課題》

- ★「同じくらいの時刻に寝る」「同じくらいの時刻に起きる」など生活習慣に関わる項目が下降気味である。
- ★自己有用感、自己肯定感に関わる項目が全国・全道平均より低い。
- ★学習が大事だと考えているが、まとめたり振り返ったりする活動に苦手感や課題を感じている児童が多く、学習活動に対して受動的である。

学級活動を通してお互いのよさを認め合いながら学級生活をよりよくしようと努力することや今努力すべきことを考えること、自分で計画的に学習することなどについても肯定的な回答の比率が高くなっており、学習にも生活にも一生懸命頑張っている姿を調査結果から見る事ができました。

一方で児童質問紙の回答から学校的な課題として、学習の中で効果的に一人一台端末などICTを取り入れていくことや「主体的・対話的で深い学び」となるための授業改善をさらに進める必要性があることがよりはっきりと見えてきました。

行ってきました!修学旅行!!

今年度の修学旅行が、13、14日の日程で無事終了しました。旅程は、マリンパークニクス、火山博物館、ルストを巡る1泊2日でした。2日目は、あいにくの天気でしたが、楽しい2日間を過ごしました。

